

4ヶ月後

片思い中の
女の子が
他の男に
少しずつ
変えられて
いくのを
見守るのは
大変な苦痛だ。

大学生になっても
スミンへの未練を
断ち切れていない僕。
あの頃から時間が
止まっている気分だ。

ジャ〜ン♡♡♡
今日の
オカズ♡♡♡

そんな僕の
気持ちを知ってか
知らずか
スミンは
今日も。

僕の
知っている
スミンから
一歩一歩
遠ざかって
いく。

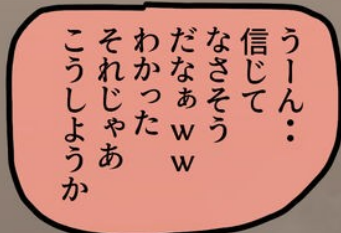
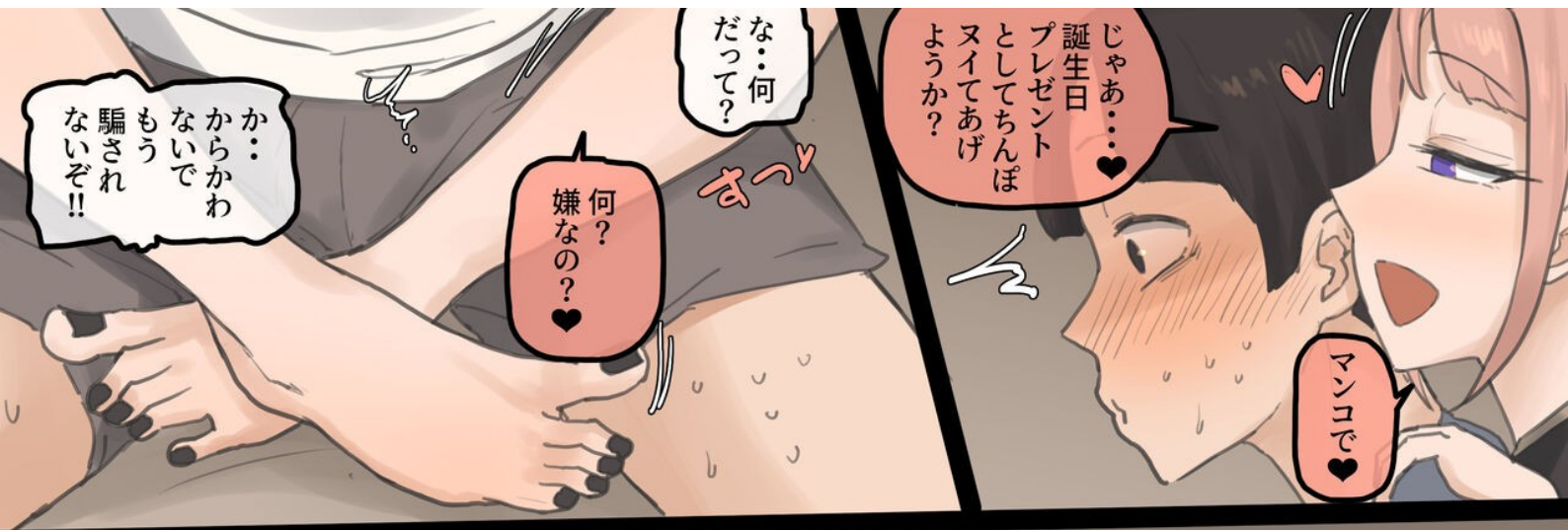
でも、まだ
ハメ撮りとかを
見せてこないのが
幸いかも
しれない。

画像を
見ている
だけでも
十分頭が
おかしく
なりそう
なのに、
そんな物
見たら。
ああ、
苦しい。



NEVERTHELESS
afterstory

laliberte
presents



ドキ ドキ

くじを
選んで！
1番だったら
オナホール
2番だったら
マンコ♥

運任せな
方が罪悪感
少なくなる
でしょ？

誕生日
プレゼントに
オナホール
用意したん
だけど：

くじ
選んだら
オナニー
手伝って
あげる
誕生日
だからね♥

ドキ

ドキ

いっあ ～ おお♡

わあ
めっちゃ
勃起
したね：
可愛い♥♥

さあ：
早く♥♥

ドキ

こいつ：
本当に僕を
バカだと
思ってるのか？

ドキ



どうせ
2枚とも
1番って
書いて
あるん
だらう...?

え?

あ、
2番だ：
マンコ
当選だね

横に
なつて

うわあ!!

2

そんなに
好きなの?

こ...これ
これ、これ!!
現実なのか??

はあ
あ

あ

はあ...
好き...
これ...
好き...

はあ...
スミンの
暖かいマンコで
ちんぽ擦られ
てる...

腰の動かし方...
上手だ...
あいつに
教わったのか?

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ

ぐちゅ



挿れたいの? ♡

はああ:
ま: 待って!!
い: 1回だけ
挿れさせて!!

ああ:
女性の
マンコって
こんなに
柔らかくて
暖かいんだ:
ウソンのやつは
このマンコを
独占していた
のか?

あ、
それは
ダメ
だよ: ♡

はあ ♡

ばちゅ ♡

ばちゅ ♡

ばちゅ ♡

べろ ♡

ばちゅ ♡

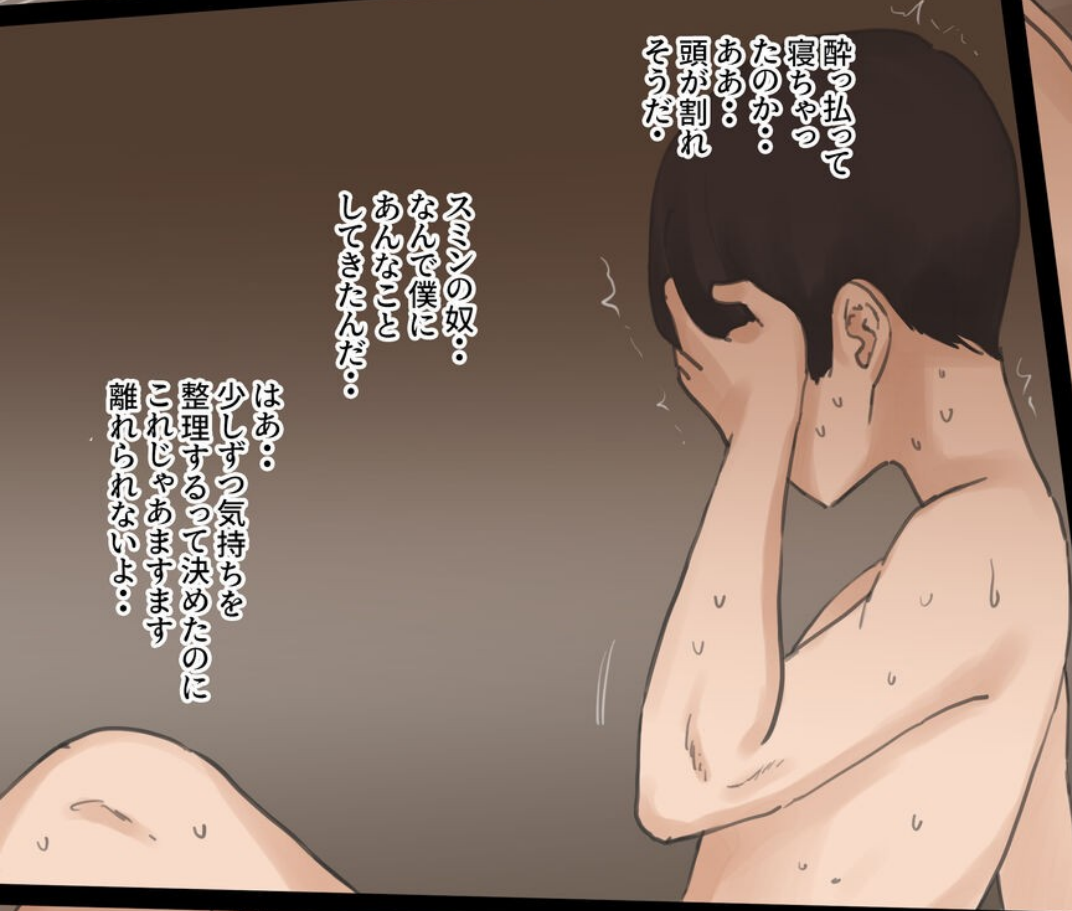
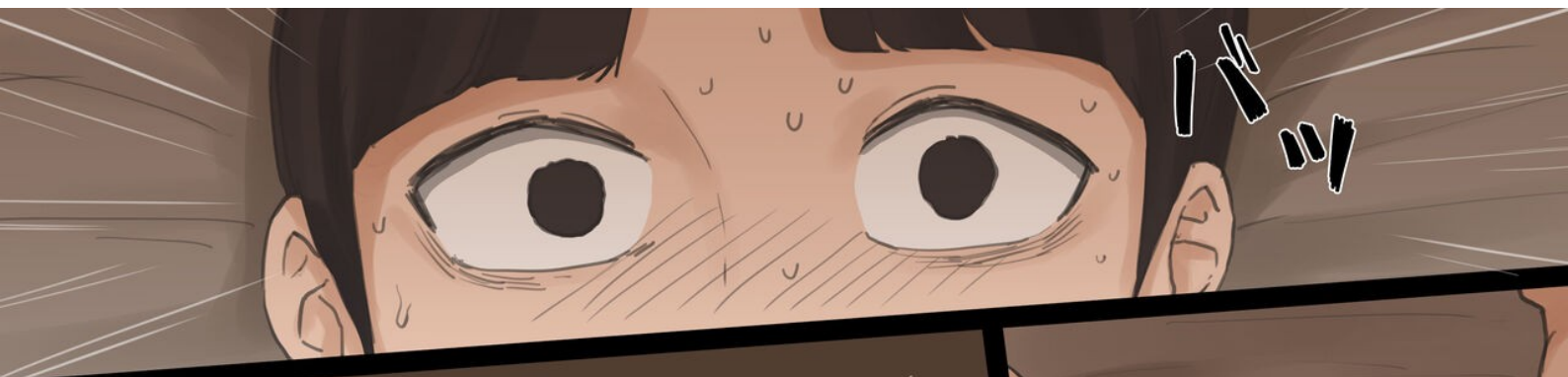
粗チンは
マンコの
入り口に
擦られて
ビュルビュル
射精しちゃえ ♡

あ:
待って!!
やめて!!

ま:
待って!!

中は
ウソン専用
だから: ♡

あ、いきなり..
これやばい
ダメ。



酔っ払って
寝ちゃっ
たのか。
ああ：
頭が割れ
そうだ。

スミンの奴。
なんで僕に
あんなこと
してきたんだ。

はあ。
少しずつ気持ちを
整理するって決めたのに
これじゃあますます
離れられないよ。

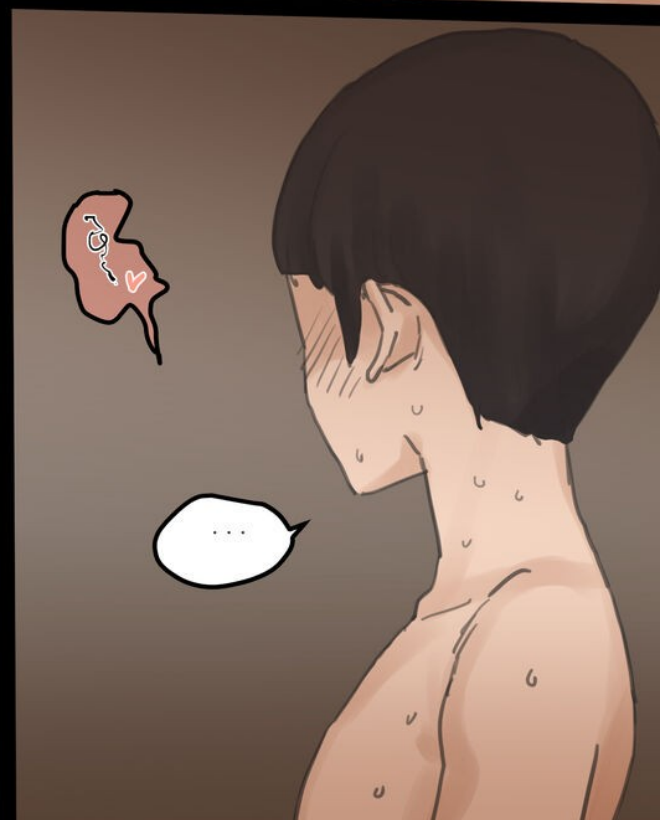


あれ：？
どうなっ
てるんだ？



あん

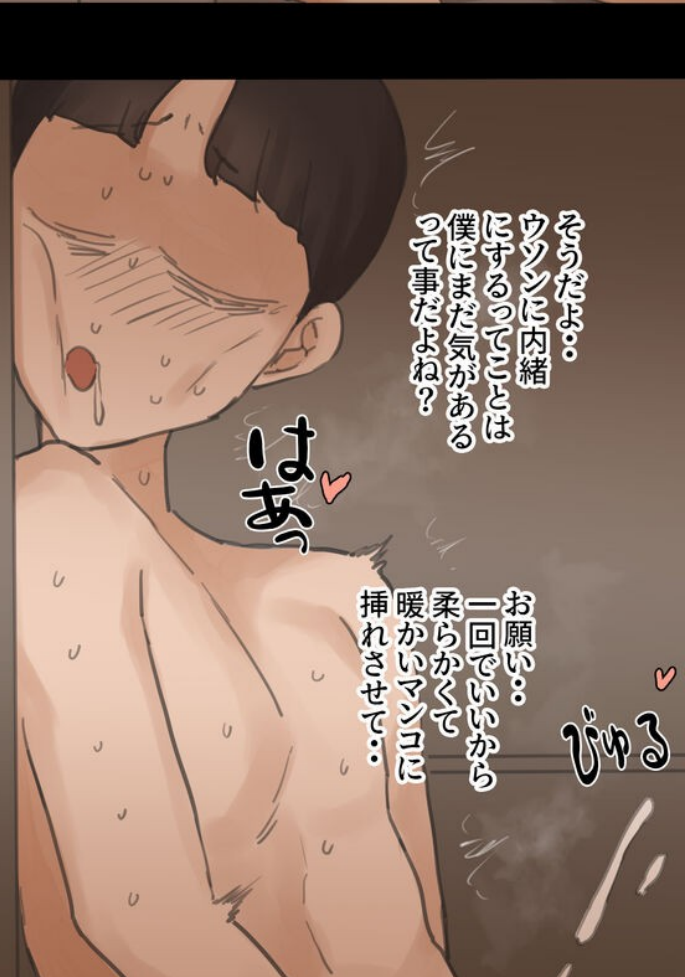
イク



ん



スメンは
今日もぎつと
セックス漬け
なんだろうな。



次の日ー

スミンの本心を
確認してみよう！

ピンポーン

ぞくっ

水曜日の午前10時。
スミンは休み時間。
ウソンは授業。
絶好のチャンス！

ガチャッ

朝から
どうしたの…？
私たちご飯
食べるけど
一緒に食べる？

な…何だよ
ウソンの奴
授業休んだのか？
セックスに浸かった
みたいなエッチな
匂いと安物の
いちごフレージャーの
タバコの匂い…
最悪だ。

ふわっ

君と僕の間には…
壁一枚しかないのに
こんなにも違う世界に
住んでいるなんて…

こんな状況でも…
ウソンのちゃんぽを
愛撫するんだね…

嫌なの？

わ…
わかった…
一緒に
食べよう

昨夜の跡…
ああ…クソ
今日の所は
出直すか…？



見向きもしていない
ネットフリックスは
ずっと前から
つけっぱなしなのかな？

大音量の映画の音を
突き抜けて部屋中に
響いているなまめかしい
喘ぎ声。
ムカつくけど興奮する。

小学生の頃
スミンと一緒に
養豚場に行った
ことがある。
特に飼育室は
衝撃的だった。

この部屋は：
あの時の飼育室
そっくりだ。
妊娠のことなんて
全く気にかけていない
獣同士がひたすら
セックスをするために
存在する部屋。

君はいつも清潔を
心掛けていたのに。
どうしてこんなに
変わってしまったの？

ハジユンは
楽にしてて
チキンを
頼んだから
もうすぐ
来るよ

今後は有頂天に
なってるこいつに
秘密でスミンと
デートするぞ。
僕が絶対に
スミンを元に
戻すから。

あ：
わかった。
僕は映画でも
見てるよ：

あ、そうだ
ハジユン
昨日は
良かった
だろ？

え??
な：
何が？

お前の
オナニー
手伝って
あげたって
スミンが
言ってたけど

何だって？
スミンのやつ!!
秘密にするって
言っただけや
ないか!!!

ちよつと！
なんで
言っちゃうのよ…
バカ！アホ！

黙って
舌出して

あ…ごめん…実は
ウソンが先に許可
してくれたの
あなたが傷つく
と思ったから
内緒のふりをしたの

ハジユンも
特に怪し
でなかったし、
大丈夫かと…

もしかして
怒った？

クッ…
クッ…
クッ…

あん

あ

はあ。
こんな状況で
勃起しちゃう
のが苦しい

それは
良かった…

あ
あ

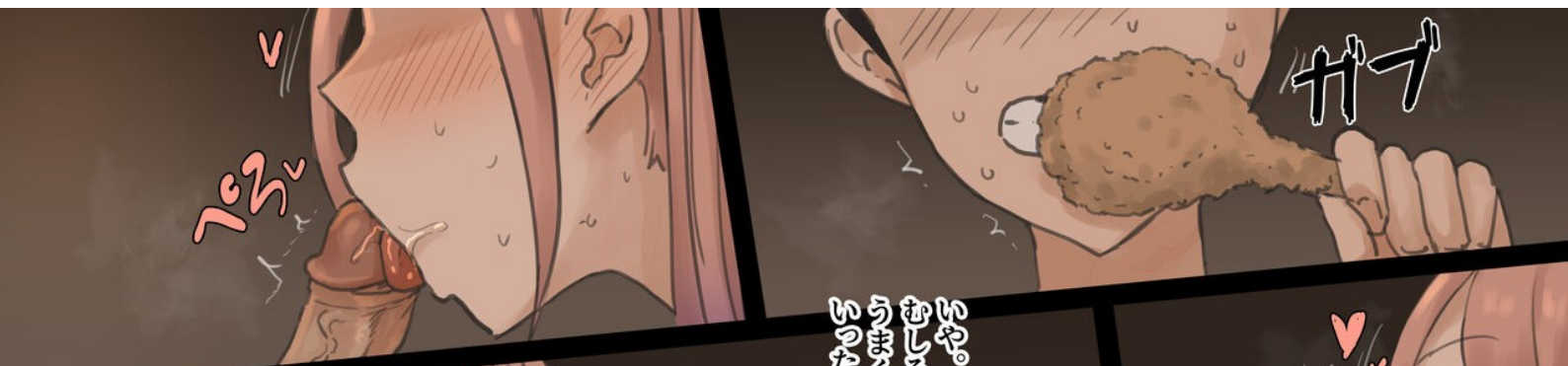
君と僕だけの
ものだっ
いたずらも
ウソンの命令
通りにする
だね？

あ…あはは…
いや…
さ…最初から
気づいてたよ…

はあ

あん

うっ
くちゅ
くちゅ
くちゅ



いや。
むしろ
うま
いっ
たぞ。



おいしい？

まあ……そ
うだね……

お前じゃ
ないよ
スミンに
聞いたの

うっ……

バク
バク



現実を見る。
絶対にスミンは
取り戻せない。
この敗北感を
胸に刻みながら……

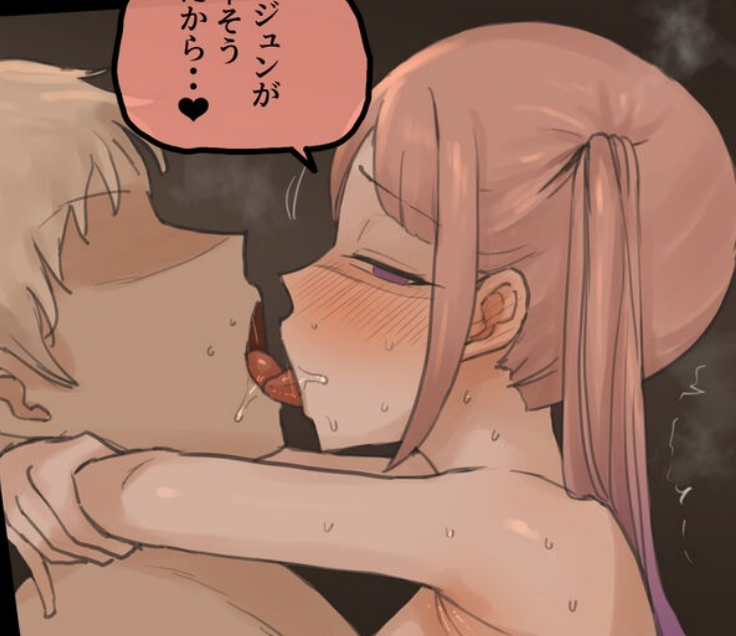
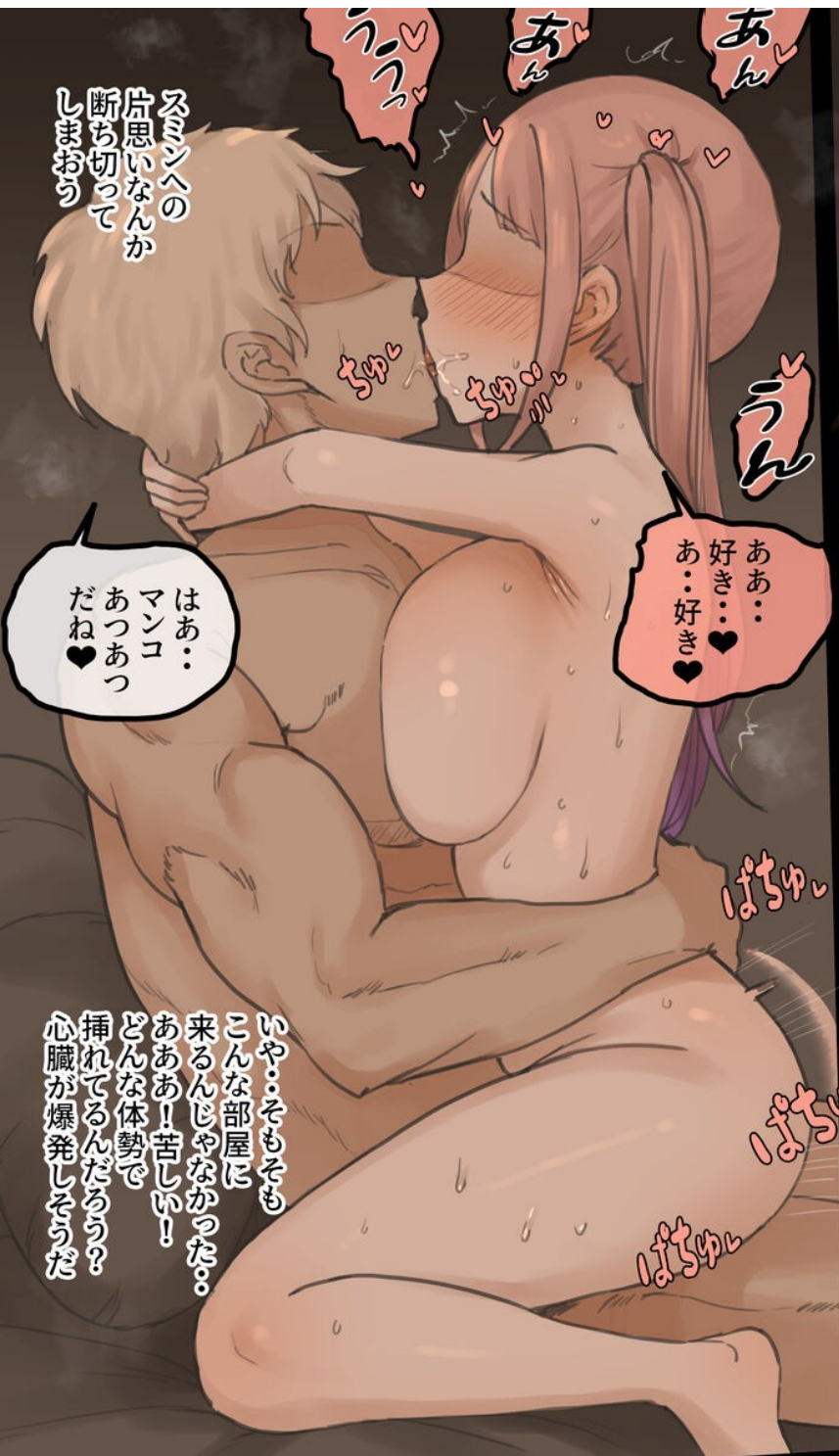
さて、そろそろ
挿れようか、スミン
ハジユンのやつも
待ってるみたいだし

彼女すら
できたことない
ハジユンの
ために喜んで
オカズになつて
やろう……

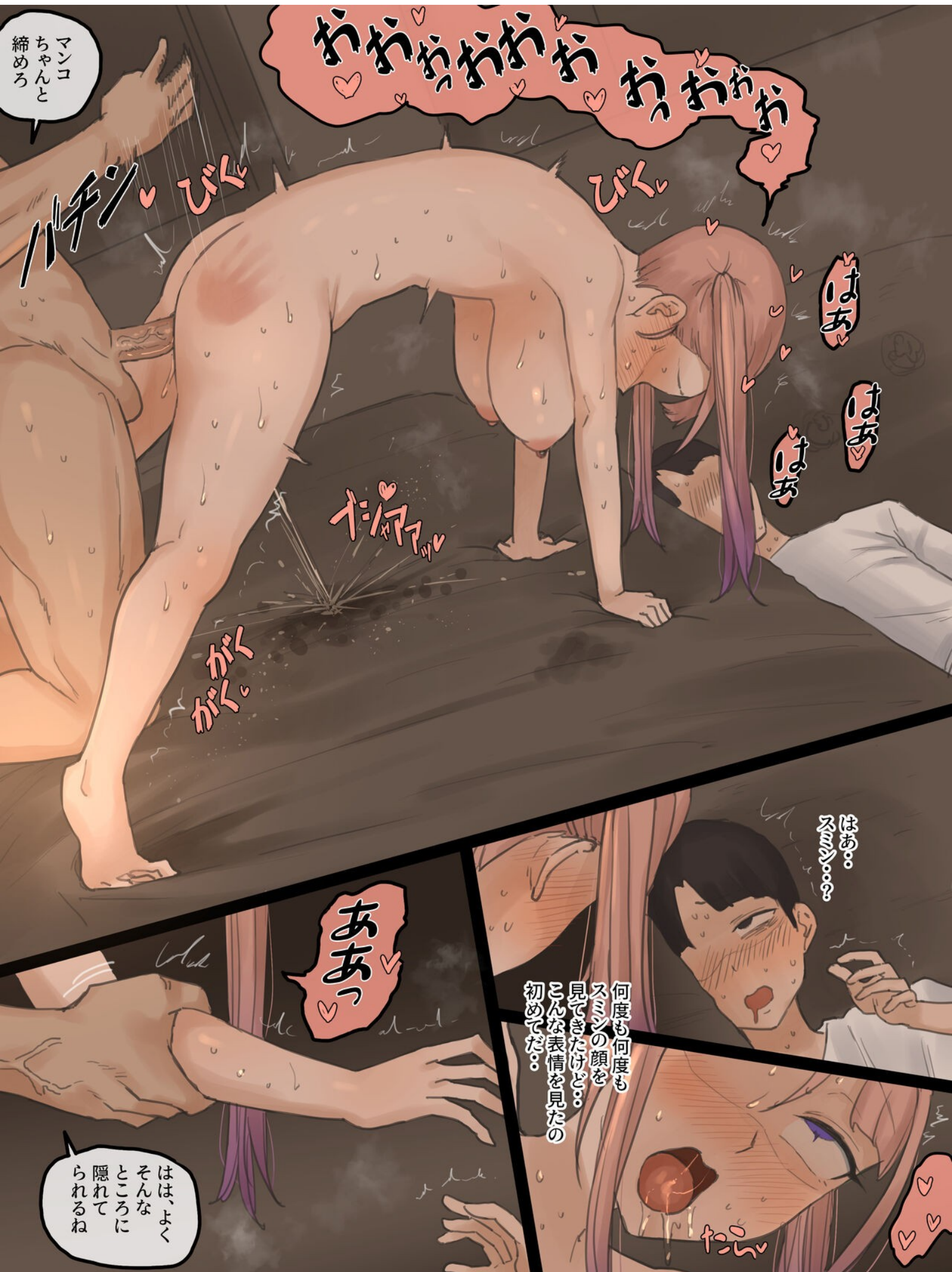
ああ……
ディープ
スロート……
好きだわあ……

ドキ

ほおお







マンコ
ちゃんと
締めろ

わわわわわわわ おっおっお

ハチン

びく

びく

はあ

はあ

はあ

イッパッ

がく
がく

ああ

はあ。

何度も何度も
スミシの顔を
見てきたけど。
こんな表情を見たの
初めてだ。

はは、よく
そんな
ところに
隠れて
られるね

たっ



すうううっ

近くに
来いよ
見学しな

ああ、さつき
イツたばかり
なのに、
もう、ちゃんぽを
おねだりしてる！

僕が先に
付き合っていたら：
僕が君を喜ばせて
いたはずなのに！

あ、おまえ!!!
大切なスミシンの
マンコにタバコの煙
吹きかけるなよ!!!

スミンは
早漏マンコ
だから
イカせるの
クソ簡単だわ

亀頭の先っぽ
ちよつと挿れて
Gスポット
叩いただけで
息遣い死ぬほど
荒くなってる
じゃん

ハハハハ

がうう

はは
可愛いなあ
じゃあ、
この辺で
授業終わり♡

挿れて：
お願い：
♡

♡
もう我慢
できない！
あん♡

♡
ちゃんぽ
挿れて
ください

♡
あん

え？
ちよつと
待ってよ
ハジュンに
教育中
でしょ

はう

ここ：
このポイント
は9センチ
ちんぽ
じゃ絶対
に届か
ない場
所だ
から教
えてや
る必
要な
いよ
ね

15年以上
見守つて
きたス
ミンの
ことは
ウソ
ンのや
つより
はるか
によ
く知
つて
いる
と
思
つて
いた
け
ど。

うわ：
身体
ブル
ブル
震
えて
る。
見
ろ
よ。
あ
あ：
め
っ
ち
ゃ
興
奮
す
る

はあ：
僕が死んでも
知ることが
できない
ポイント：
あいつは
自分だけが
知っている
ポイント
を見せ
びらか
せて
いる
ん
だ

はあ：
イキ
そう
だよ。

マンコ
ぎゅ
って
締
め
て
子
宮
の
中
で
い
っ
ぱ
い
イ
ク
か
ら

そこが
気持ち
良
い
ん
だ
ね？
う
う
っ
。
僕
も
イ
キ
た
い
！！
ス
ミ
ン
の
中
で
イ
キ
た
い
よ
！！

ああ
た
う
て
る
う
う

あ
あ
ん

子宮
まで
え
あ
あ
ん

あ
す
ぎ
ち
ん
ぽ

あ
あ
ん

あ
す
ぎ
ち
ん
ぽ

あ
あ
ん
イ
ッ
ッ

イ
ッ
ッ
て
え

は
う
ん

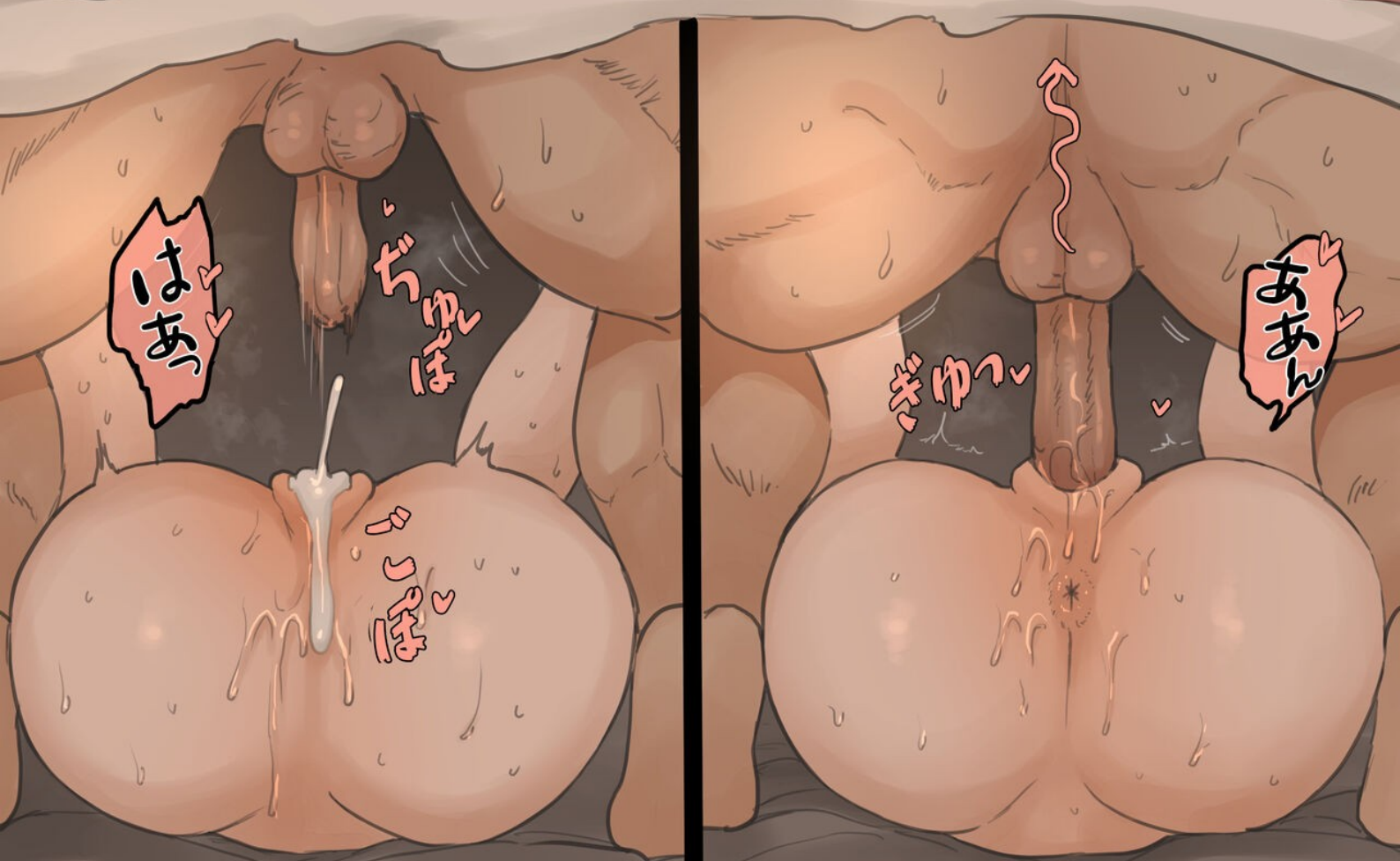
ち
ゅ
う

ぬ
る
ん

ガ
ハ
ハ
ハ

び
く
ん

バ
ン
バ
ン





敗北射精をした後
僕は賢者タイムに
入って、自分のことが
ものすごく
恥ずかしくなった

ちゅっ

ちゅっ
ペロ

スミンがウソンの
ちんぽに残った
精液を吸い取ってる
姿を見て：

突然と
怒りと
嫉妬の
感情に
襲われた
僕は：

はあ：❤
金玉の匂い
好き：❤❤
雄臭い❤❤

一瞬理性を
無くして
しまった
らしく

？

ぼくの
ちんぽも
しゃぶって

ぼくの
ちんぽも
ヤリマン
みたいに
しゃぶれよ!!

あゝ

あゝ
あゝ
あゝ

うん

うん

はあぁ♡♡

すううう

やっぱり
あんなこと
言わなきゃ
なかったんだ。

っっっっっ♡♡

どうやら僕の
大学生活は
ひどくこじれて
しまったみたいだ。